教科目名　英語　IA　(English IA)

学科名・学年　：　全学科　１年
単位数など　：　必修　２単位　（前期１コマ，後期１コマ，授業時間 46.5 時間）
担当教員　：　峯本敏男

授業の概要

中学校で習った初級英語を更に発展させ,英文法の基礎力を養成する.具体的には,高校１年生レベルの英文法の学習と演習によって,基礎英語力の習得を目指す.また長期休暇等には課題によって,復習や自学自習を行わせる.

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(C2)**

(1) 英文法の基本を習得し,英語の基本構文を理解できるようになる.（定期試験）
(2) 英語の基本的な構文やその意味用法を習得し,基礎的な英語を表現できるようになる.（定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
			【理解の度合い】
1	授業オリエンテーション	授業の概要,学習方法等を説明する.	
2	品詞・語順	基本的な品詞の用法と語順を復習する.	
3	文の種類	否定文，疑問文，感嘆文，命令文を学ぶ.	
4	時制（１）	現在形，現在進行形,動詞の種類を学ぶ.	
5	時制（２）	過去形，過去進行形の基本的用法を学ぶ.	
6	時制（３）	未来を表す表現を学び，理解する.	
7	時制（４）	注意すべき時制の用法を学び理解する.	
8	前期中間試験		【試験の点数】　　点
9	前期中間試験の解答と解説		【理解の度合い】
10	完了形（１）	現在完了形の構文と基本用法を学ぶ.	
11	完了形（２）	現在完了進行形の構文と基本用法を学ぶ.	
12	完了形（３）	過去完了形の構文と用法を学ぶ.	
13	完了形（４）	過去完了進行形の構文と用法を学ぶ.	
14	完了形（５）	未来完了形の構文と用法について学ぶ.	
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		
16	助動詞（１）	基本構文の復習と can, be able to, may, must, have to について学び理解する.	【理解の度合い】
17	助動詞（２）	should, ought to, had better, will, would, shall について学び理解する.	
18	助動詞（３）	完了の助動詞構文と用法を理解する.	
19	助動詞（４）	注意すべき助動詞構文と用法を理解する.	
20	受動態（１）	受動態の基本用法と助動詞構文を学ぶ.	
21	受動態（２）	進行形と完了形の受動構文を学ぶ.	
22	受動態（３）	注意すべき受動態の構文と表現を学ぶ.	
23	後期中間試験		【試験の点数】　　点
24	後期中間試験の解答と解説		【理解の度合い】
	不定詞（１）	不定詞の基本構文と名詞用法を理解する.	
25	不定詞（２）	不定詞の形容詞用法と副詞用法を学ぶ.	
26	不定詞（３）	注意すべき不定詞構文と用法を学ぶ.	
27	不定詞（４）	進行形，完了形，受動態の不定詞を学ぶ.	
28	動名詞（１）	動名詞の基本的用法と構文を学ぶ.	
29	動名詞（２）	完了形，受動態の動名詞，注意すべき用法について学ぶ.	
30	後期期末試験		【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	日頃から予習･復習を心がけ，授業中も集中して発話練習にも積極的に取り組むこと.	【総合達成度】
教科書	「アトラス総合英語 English Grammar Compass in 23 Lessons 」,桐原書店.	
参考図書	「アトラス総合英語　English Grammar and Expressions」,桐原書店.	
自学上の注意	「継続は力なり」，１日に３０分は英語に触れる努力をすること.	
関連科目	英語 IB,英語 LL,英会話,英語 IIA	
総合評価	達成目標は４回の定期試験および課題で評価し,総合評価は定期試験（８０％）＋課題（２０％）とし，100 点満点で総合評価が６０点以上を合格とする.なお課題を全て提出し，総合評価が４０～５９点の者に対しては，再試験を行う．実施方法については授業において指示する.	【総合評価】　　点